

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年2月6日
【会社名】	大王製紙株式会社
【英訳名】	Daio Paper Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役 社長執行役員 若林 頼房
【本店の所在の場所】	愛媛県四国中央市三島紙屋町2番60号 (同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っています。)
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区富士見2丁目10番2号
【電話番号】	(03) 6856-7500
【事務連絡者氏名】	経理部長 張能 太子
【縦覧に供する場所】	大王製紙株式会社東京本社 (東京都千代田区富士見2丁目10番2号) 大王製紙株式会社大阪支店 (大阪市中央区備後町4丁目1番3号) 大王製紙株式会社名古屋支店 (名古屋市中区丸の内1丁目16番4号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1．当該事象の発生年月日

2026年2月4日

2．当該事象の内容

当社の「高塩素燃料に対応可能な発電設備新設による石炭ボイラー停止事業」に対する「令和7年度脱炭素成長型経済構造移行推進対策費補助金」の交付が決定しました。（補助金交付上限額：8,015百万円）

3．当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該補助金は2026年3月期第4四半期連結会計期間以降、年度毎に分割で受領する予定ですが、直接減額方式により圧縮記帳する会計処理を適用する予定であり、当該設備の稼働時（2031年3月期を予定）に特別利益として国庫補助金受贈益8,015百万円及び特別損失として固定資産圧縮損を計上する見込みです。

以 上